

大学

「学位記授与式」挙行

Graduation ceremony

桃の花が咲き始め桜の開花も目前の中、本郷キャンパス・ふじみ野キャンパスでは、大学・大学院の「学位記授与式」が執り行われました。

(写真提供:スタジオ・トナミ)



本郷キャンパスで行われた学位記授与式

3月9日、大学院人間学研究科修了生15名、人間学部卒業生364名、大学院保健医療科学研究科修了生16名、大学院看護学研究科修了生3名、保健医療技術学部卒業生244名の「学位記授与式」が、ふじみ野キャンパスアトリウムにて行われました。また、3月10日、大学院外国語学研究科修了生7名、外国語学部卒業生214名、大学院経営学研究科修了生14名、経営学部卒業生216名の「学位記授与式」が、本郷キャンパス仁愛ホールにて行われました。両キャンパスでは、福井勉学長が各総代に「学位記」を授与し、「学長賞」を贈呈。「仁愛賞」をはじめとする各賞表彰も行われました。各研究科修了生、各学部卒業生代表からのメッセージを紹介します。(敬称略)



ふじみ野キャンパスで行われた学位記授与式

総代からのメッセージ

- 【外国語学部】 大江由華
大学では新しい視点と充実した日々を与えてくれた経験、学び、かけがえのない出会いがありました。今後も、4年間を通じて得たもの、お世話になった方々への感謝を忘れず、大切にしながら努力していきます。
- 【大学院経営学研究科】 高橋守
初めて租税法を学ぶことに期待と不安を感じつつ入学し、租税法論文の執筆に心身ともに励んだ濃密な2年間でした。この学びを通して、修了後も先生方との繋がりが持てることは生涯の財産となりました。ありがとうございました。
- 【経営学部】 吉田佳奈美
コロナ禍による生活の変化や苦悩がありながらも、諸先生方をはじめ、学びやすい環境をつくっていただいた職員の皆様のおかげで、多くの経験を重ねることができました。4年間で得た貴重な出会いと知識を大切に、今後も成長し続けていきます。

- 【大学院人間学研究科】 永井瑛里子
大学院生活は「自分の経験」を超えた世界を見せてくれ、専門である幼児教育のあり方についても問い直す時間を与えてくれました。先生方や家族に感謝し、学ぶことを絶やさず、自分の地図を描き続けていきたいです。
- 【人間学部】 加藤さくら
大学生活の出発地点からコロナ禍による多くの苦悩もありましたが、その中でも興味がある分野を探求し続け、満足のいくまで走り抜いたことは人生の糧になるものだと思います。これからも日々精進し続けて参ります。
- 【GCI】 檜和田航希(人間学部)
入学当初からコロナ禍による変化と不自由を余儀なくされた大学生活でしたが、様々な見識を深め、卒業を迎えることができました。支えてくれた家族や友人、先生方への感謝を忘れず、今後も挑戦し続けます。

- 【大学院保健医療科学研究科】 渡邊和也
この2年間は、専門分野の知識や研究に関する知識を得ただけでなく、専門分野における課題への疑問や思考を深める有意義な期間でした。今後も自分の専門性を高め、社会に貢献できるように研鑽を続けていきます。
- 【大学院看護学研究科】 吉野里奈
私はがん看護に関心を持って入学し、がん患者の化学療法に関することをテーマとして、先生方のおかげで研究に取り組むことができました。あらためて看護師が好きであると気づいた2年間でした。修了後も研究を行い、博士後期課程にも挑戦したいです。
- 【保健医療技術学部】 北村周太郎
私は大学生活で継続力を身につけることができました。先生方や友人と協力し、諦めず継続して取り組むことで、多くの課題も解決できました。その積み重ねは自信にも繋がりました。社会人になっても継続力を活かしていきたいです。

卒業生マイステイトメント

※タイトルのみ。全文はホームページに掲載

- 石井里歩(外国語学部) 「成長」
小林達樹(大学院経営学研究科) 「目指す税理士像は“満点税理士”」
平山未結(経営学部) 「大学院での研究活動への決意」
花城美彩(大学院人間学研究科) 「2年間の学びと今後の抱負」
牛木玲奈(人間学部コミュニケーション社会学科) 「挑戦から生まれた宝物」
熊澤花梨(人間学部児童発達学科) 「今後の目標・決意」

- 川村友香(人間学部人間福祉学科) 「大きな目標に向けて」
本間富士子(人間学部心理学科) 「学びを力に変えて」
岩井琢人(大学院保健医療科学研究科) 「常に新しく、謙虚に」
吉野里奈(大学院看護学研究科) 「大学院で得た研究力を糧に」
藤沼瑞希(保健医療技術学部) 「夢を叶えるためのステップ」
山田智紘(GCI) 「"感謝"を胸に」

総代・マイステイトメントのメッセージ全文はこちらから



福井勉学長 式辞「卒業生へ贈る言葉」

皆様とともにこの素晴らしい日を迎えることができ、心から感謝申し上げます。今日は皆様にとって特別な日であり、大学生活の集大成と言える日だと思います。

今日、皆さんは大学を卒業し、新たな航海に旅立つこととなります。人生はまさに船の航海に似ています。時には穏やかな海で、時には荒れ狂う波にさらされながら、皆さんはその船のかじ取りであり、目的地への航路を切り拓いていくこととなります。その航海の中には、新たな挑戦や発見が待っています。

これからの人生は皆さんが形作るストーリーであり、新たな章が始まることだと思います。作家はもちろん、皆さん自身であり、自らの行動や選択が物語を紡ぎ出すこととなります。その物語の中には、喜びや苦難、成長や挫折も時には織り込まれていると思います。そして、その物語は決してひとりで過ごすものではなく、世界の出来事や社会の情勢にも影響を受け、また影響を与えていくこととなります。

このVUCAの世界における心構えも重要です。VUCAとは、Volatility(不安定性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)を指し、現代社会が直面する状況を表現します。このような環境下では、特に皆さんに柔軟性や創造性、そして適応力が求められます。そのためには、常に学び続け、新たな視点を持ち、チームと協力して解決策を見出す姿勢が重要です。

最後に、私たちの大学を卒業した皆さんに、心からの祝福を送ります。皆さんの航海が、幸せで充実したものでありますように。そして、皆さんが自らの物語の主役として、輝かしい未来を切り拓いていくことを願っています。(式辞より抜粋)



式辞を述べる福井勉学長

各賞表彰者

〈本郷キャンパス〉

- 【総代・学長賞】大江由華(外国語学部)、高橋守(大学院経営学研究科)、吉田佳奈美(経営学部)
【仁愛賞】★外国語学部/新井達也、インペリアル ジュダー ミカア ブラタ、大熊愛、大島万奈、多田有香、千明隼也、橋本隼登、森下晶代、山崎姫乃 ★大学院経営学研究科/毛塚衛 ★経営学部/佐藤颯馬、中原大知
【最優秀論文賞】高橋守(大学院経営学研究科)
【優秀論文賞(大学院経営学研究科)】阿部広佑、小林達樹、坂本真浩、成島靖志
【優秀論文・作品賞(外国語学部)】會田紫織、浅見仁美、インペリアル ジュダー ミカア ブラタ、江泉伽耶、小坂優、小田島祥吾、小野瀬朱里、岸菜々子、北山真由、小林悠真、坂爪朝香、佐藤凌大、塩練祐子、鈴木有久里、鈴木悠梨、野口姫萌華、樋口修生、増淵瑠菜、松田徹平、松本つづみ、村岡美咲、村岡雅、山田智紘
【優秀論文・制作賞(経営学部)】大森葵、新柵えりか、関順正、田辺乃愛、千勝隆宏、野田風花、久松直生、平山未結、吉田翔太
【ベストバリュー作品賞】大森葵(経営学部)
【GCI優秀賞】石井里歩(外国語学部)、木村幸太(経営学部)

〈ふじみ野キャンパス〉

- 【総代・学長賞】永井瑛里子(大学院人間学研究科)、加藤さくら(人間学部)、渡邊和也(大学院保健医療科学研究科)、吉野里奈(大学院看護学研究科)、北村周太郎(保健医療技術学部)、檜和田航希(GCI)
【仁愛賞】小林大幹(保健医療科学研究科)、藤井彩音(保健医療技術学部)
【最優秀修士論文賞】高野知木子(大学院人間学研究科)
【全国保育士養成協議会表彰】羽石千裕(人間学部児童発達学科)
【全埼玉私立幼稚園連合会表彰】中山桃子(同)
【日本ソーシャルワーク教育学校連盟(社会福祉士)表彰】戸崎亮(人間学部人間福祉学科)
【日本介護福祉士養成施設協会表彰】林成信(同)
【みよし会賞】森谷菜由(保健医療技術学部理学療法学科)、田島有彩(同学部作業療法学科)、元木美優(同学部臨床検査学科)、反中乃彩(同学部看護学科)
【GCI優秀賞】助川菜々花(保健医療技術学部)

中高

「卒業証書授与式」

春の訪れを感じる陽差しの中、高校は3月8日、中学は3月20日に、本郷キャンパス仁愛ホールにて「第76回卒業証書授与式」が執り行われました。清水直樹中学校・高等学校校長より、卒業生一人ひとりに卒業証書が授与され、各賞表彰も行われました。(写真提供:スタジオ・トナミ)

【 高校式辞 】 「学び続けること」

ヒト・モノ・金・情報が自由に国境を越えていくグローバル世界のますますの拡大、人工知能や宇宙開発などの科学技術のとどまることのない進歩。ただでさえこのような激動の21世紀の中で、私たちは新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という未知の試練に見舞われました。そのような中での3年間の高校生活。「何のために学校へ行くのか」「何のために学ぶのか」、今まで以上に目的意識が強く求められました。皆さん一人ひとりが今まで以上に考えたはず。自問自答を繰り返す中で、少しでも自分なりの答えが見つかったでしょうか。高校時代に正解を見つけることができなくとも、このことを一生涯に考えることこそが本校がめざす自立の姿に一步一步向かっていることだと思います。これからも学び続けて考え続けてください。



中学校・高等学校校長
清水直樹

高校卒業式



【 総代・各賞表彰者 】

総代:安藤和佳乃(藤)
3年間皆勤賞代表:久力美琴(檜) 全27名
3年間精勤賞代表:河村優希(萩) 全34名
東京都知事賞:植野 葵(藤)
日本私立中高連合会賞:湊谷美羽(楓)

東京都私学財団奨励賞:石原明日香(梅)
東京私立中学高等学校協会表彰:箕浦祐璃(梅)・
光吉音楽(梅)
東京都体育協会賞:原田真緒(杉)
褒賞:酒井愛美香(梅)

【 送 辞 】

在校生代表 第74期生徒会会長(2年秋組) 中西美穂

高校3年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。新型コロナウイルスによる影響も徐々に緩和される中、変更すべきことや挑戦すべきことに対して、失敗に尻込みせず、果敢とそして臨機応変に、先輩方は私たちの先頭に立って導いてくれました。常に明るく頑張ってきた先輩方はいつでも私たちの憧れです。この先どんな困難にぶつかっても、先輩方なら乗り越えられるはず。文京学院での学びを活かし、様々なことにチャレンジして、これからも輝き続ける存在でいてください。先輩方の一層のご活躍をお祈り申し上げます。



【 感謝の言葉 】

卒業生代表第73期生徒会会長(3年梅組) 酒井愛美香

私たちの高校生活は、新型コロナウイルスの影響により、先行きが不透明な中でスタートしました。しかし、新しい学校のあり方を目指して、仲間と楽しみながら、私たちはコロナ禍という状況を乗り越えてきました。楽しい学校生活を過ごすことができたのも、傍で私たちを温かく見守ってくださった先生方や同じ学年の仲間たちがいたおかげです。ありがとうございました。私たちはそれぞれが選んだ道へと進んでいきますが、文京学院大学女子高等学校で学んだ多くのことを胸に刻み、胸を張って、それぞれの場所で輝き続けていきます。そして、夢の実現に向けて精一杯努力し、いつか夢を叶えて、母校に恩返しをしたいと思っています。



【 謝 辞 】

卒業生保護者代表 酒井麻起子様

さまざまな経験を通して、娘たちは、新しい挑戦から得た自信と当たり前のごことに感謝できる心が備わり、大きく成長できたと思います。娘たちが成長し、笑顔で3年間過ごすことができたのも、「誠実・勤勉・仁愛」の校訓のもと、日々温かく娘たち一人ひとりに向き合い、その心に寄り添い、細やかで温かいご指導をいただいた先生方のおかげです。高校3年間の経験を土台として新しいステージで光り輝くために、大きな夢を持って、そして夢を決意に変えて、自分の未来に向かって歩いていってほしいと願っています。



【 贈る言葉 】

高校3学年代表 水上俊子教諭

卒業生の皆さん、ご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。「ポストコロナ」を模索したこの3年間、何ができるのか、何をすべきでないのか。単純に「戻す」だけでなく、新たな挑戦もたくさんありました。のんびりおっとりした学年だと評されることが多いこの学年の皆さんでしたが、状況変化にしっかりと対応できる力も兼ね備えた女性に成長しました。この先どんなことがあっても、この3年間を経験してきた皆さんだったらきっと大丈夫。一層の飛躍を期待しています。



中学卒業式



【 総代・各賞表彰者 】

総代:中西朱音(菊)
3年間皆勤賞代表:佐々木光(桃) 全16名
3年間精勤賞代表:宮村華歩(栗) 全12名

日本私立中学高等学校連合会賞:横尾心海(栗)
体育優良生徒:宮崎里歩(栗)
褒賞:畠山礼佳(菊)

【 送 辞 】

在校生代表第43期生徒会会長(2年栗組) 高井莉瑚

中学3年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。私たちは先輩方から沢山のことを学ばせていただきました。いつも学校行事を盛り上げてくださった先輩方は、光り輝いていて私たちの憧れです。この憧れを私たちの意欲に変えて、先輩方が築いてくださった文京学院での生活をこれまで以上に良くしていきたいです。文京学院での中学校生活を高校生活にも活かしてがんばってください。これからのご活躍を祈っています。



【 感謝の言葉 】

卒業生代表第42期生徒会会長(3年菊組) 畠山礼佳

この中学校生活3年間、たくさんの人に支えられました。入学したばかりの頃、自己紹介をするときに緊張して困っている私に、近くの友達が話しかけてくれたことがとてもうれしく、今でも鮮明に覚えています。また、先生方にはとてもお世話になりました。困っているときは私の話を聞き、的確なアドバイスをくださいました。友達、先生方、3年間ありがとうございました。支えてくれた人達への感謝を忘れずに、4月からの高校生活も目標を決め、力強く歩いていきたいと思います。



【 謝 辞 】

卒業生保護者代表 宮島佳奈様

コロナ禍で始まり、さまざまな学校行事も体験することが叶わなかった中学生活でしたが、オンラインでの授業など、先生方が一生懸命取り組んでくださったこと大変感謝しております。娘たちが困難に打ち勝ち成長できたこと、未来に役立つ経験を積めたことも、ひとえに先生方やサポートしてくださった方々の愛情あふれるご指導の賜物だと思っております。娘たちには、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも努力し、夢に向かって進んでいってほしいと思います。3年間、大変お世話になりました。



【 贈る言葉 】

中学3学年代表 嶋田栄司教諭

人生は旅によく例えられます。どんなに疲れていても、苦しくても道は続いています。少し不安でもまずは通ってみる。実はこれが楽しいのです。どんな道でも景色を楽しみ、空を感じれば楽しい旅に変わるものです。みなさんが歩んできた道は、決して無駄ではなく、みなさんの輝かしい未来にきっと役立つでしょう。失敗を恐れずどんどん前に進みましょう。今日が新しい旅のスタートラインです。目の前の道をまずは進んでください。ご卒業おめでとうございます。



幼稚園

「修了証書授与式」

【 贈る言葉 】

ふじみ野幼稚園園長 柄田 毅

ふじみ野幼稚園から次の世界に歩み出す皆さん、誠におめでとうございます。皆さんが、この園で友だちや先生たちと一緒に遊び、いっぱい考えて、たくさん体験して、楽しく、元気に、おもしろく、笑顔がたくさん毎日にしてきたことは、皆さん一人ひとりが達成した学びと経験のかたまりです。そのかたまりを、これからの歩みのなかで、皆さんらしい形につくりかえて、多彩な世界を創り出していくことを期待しています。もしかしたら、うまくいかないことや、ちょっと困ることがあるかもしれません。そんなときは、幼稚園でつくったかたまりから、友だちのこと、先生たちのこと、園で取り組んだユニークで素敵なアイデアがちょっと出てくると思います。それを見つくと、「そうだ、やってみよう!」という気持ちになります。その気持ちがたくさん積み重なって、一人ひとりの「うまくできる!」になっていきます。ふじみ野幼稚園は未来をつくる皆さんが笑顔でチャレンジすることをいつも応援しています。



【 贈る言葉 】

文京幼稚園園長 益田 薫子

幼稚園修了おめでとうございます。文京幼稚園では、先生やお友達と毎日たくさん遊んで、素敵な思い出がありましたね。皆さんは人の気持ちを考えるという大切なことを学びました。困っているお友達を助けたり、優しく声をかけたりできるようになりましたね。遊ぶ時は夢中になって思い切り楽しむ。みんなで一つのことをするときには、人と気持ちを合わせて一生懸命取り組む。これが大切です。小学校でもわくわく色々なことに挑戦してみましょね。保護者の皆様へ。学童期は「手を離して、目を離すな」とよく言われています。心配になることもあると思いますが、我が子の手を離し、自分で考え自分で行動できるように、目は離さずずっと背中を押してあげるとよいと思います。そして、頑張ったことは必ず認め、声に出してほめてあげてください。両親はいつでも我が子にとって最高の応援団長であってほしいと思います。どうかこれからも、園と保護者の皆様と一緒に培った根っこの部分を大事に育て、きれいな花を咲かせてあげていただきたいと願っています。三年間、誠にありがとうございました。



ふじみ野幼稚園「第58回 修了証書授与式」



文京幼稚園「第69回 修了証書授与式」

中高 「富士賞授与式」

創立者島田依史子先生の意思を受け継ぎ、校訓である「誠実・勤勉・仁愛」の精神を体現するような人柄で、中学・高校全校生徒の模範となる生徒を表彰する「富士賞」。今年度は、2月14日に駒込キャンパスジャシーホールにて「第59回富士賞授与式」が執り行われ、勉学・部活動・生徒会・ペン習字など地道な努力を継続し、成果を収めた生徒・保護者・卒業生・教員などが表彰されました。受賞者を以下にご紹介します。(対象は3年生、敬称略) (写真提供:スタジオ・トナミ)

【総合部門】 「人として豊かな心を持ち、周囲からの人望も厚く、本校の校訓である誠実・勤勉・仁愛の精神を体現した生徒」

- 中学 長沼志帆莉(菊)、坂下和香奈(桃)、佐藤杏菜(桃)、宮嶋里歩(栗)、横尾心海(栗)
- 高校 大越美潤(楓)、湊谷美羽(楓)、久力美琴(檜)、杉本彩香(檜)、植野葵(藤)、吉田実枝(藤)、井上晴菜(梅)、サブリ ファティマ サキナハ(梅)、永野愛美(梅)、箕浦祐璃(梅)、藤本ゆい(萩)、八代真幸(萩)、保戸塚遥菜(杉)、三澤穂乃佳(杉)

【課外活動部門 個人】 「課外活動において、その活動が顕著であった生徒」

- 高校 伊東李々花(梅)、光吉音葉(梅)、宮川愛梨(梅)

【課外活動部門 団体】 「活動が盛んで、成果を上げた部活動、委員会などの団体」

中学バレーボール部、中学サッカー部、中学ソフトテニス部、中学新体操部、高校バレーボール部、高校サッカー部、高校ソフトテニス部、高校ソフトボール部、高校新体操部、高校生徒会、高校図書委員会、高校国際交流委員会、高校学校説明会ボランティア、高校キャリア甲子園、高校タイ科学交流プログラム



第59回「富士賞」授与式

【ペン習字精励賞】 (対象は全学年) 600枚提出者(中学・高校合計372名)

- 中学代表=石黒 耀(3菊)
- 高校代表=豊住優香(3藤)

【ペン習字精励賞特別表彰者】 (敬称略)

保護者・家族:宗雲千賀、比企淳子、青砥博一、後藤優子、西澤光代、樋口由美子、中西みどり、松本直美、相原美春、金子ゆかり、桑原頼子、清水泰子、長谷川憲子、水越由美
教員:熊田真紀、岩倉寛樹

【清書テスト優秀者】

中学代表=櫻井由菜(3桃)

- [中1] ■菊組:新井みのり、栗野志帆、小澤真優 ■桃組:横溝仁美 ■栗組:種子田結良、外山晴美、鳥飼智佳
- [中2] ■菊組:桑原 碧、谷地優希奈、渡邊陽愛 ■桃組:今井理梨花、小出春佳、柴田唯花 ■栗組:白濱成羽、和田芽奈
- [中3] ■菊組:石黒 耀、中西朱音、長沼志帆莉、長谷川馨、田中 凪 ■桃組:江口真由、櫻井由菜、砂村玲那、中西梨花 ■栗組:相原ひなの、太田柚希、沖 采史、黒川愛莉、五味 央、成本恵衣、宮嶋里歩、横尾心海、米山佳歩

高校代表=兪 柳亦(3檜)

- [高1] ■楓組:今井咲希、山内心優 ■藤組:秋葉萌那、石坂優理、岩瀬奏美、大柳美結、片山心晴、栗田祐良、齊藤好香、関口華菜美 ■梅組:大矢由紀、小田 月、橋本心花、山賀 文夏 ヘレナ、横溝みりあ ■萩組:下川瑠菜
- [高2] ■楓組:肥田木もも、山田香菜子 ■檜組:石峯優花 ■桜組:佐野友葉、鈴木優佳、山田梓未、山本優 ■藤組:嶋田弥奈 ■梅組:藤本結真 ■萩組:金子稟佳、中西美釉 ■杉組:杉谷紗永
- [高3] ■楓組:清水彩花 ■檜組:兪 柳亦 ■藤組:安藤和佳乃、豊住優香 ■梅組:酒井愛美香、櫻澤真緒 ■杉組:春日柚希

PHOTO GALLERY



中学 「英語暗唱コンテスト」開催

2月14日、駒込キャンパスジャシーホールにて「第62回英語暗唱コンテスト」が行われました。河野絢華さん(3菊)と桑原花菜子さん(3栗)の司会で進行し、予選を勝ち抜いた24名(各学年8名)が英語暗唱力を競いました。厳しい審査の結果、次の生徒が入賞しました。(敬称略)

【第1位】	1年 劉 紗愛(桃) 2年 後藤理子(栗) 3年 金澤依諾(桃)
【第2位】	1年 福田天音(栗) 2年 白濱成羽(栗) 3年 太田柚希(栗)
【第3位】	1年 小野寺美衣(栗) 2年 望月綾乃(菊) 3年 横尾心海(栗)
【国友賞(最優秀賞)】	3年 金澤依諾(桃)

BOOK INTRODUCTION 書籍紹介

『福祉・介護・医療の現場で役立つイラストでわかる対人援助の技術』



本書は、対人援助職の日々の面接や相談が円滑に進むことを目的に、基本的な考え方や技術を、準備から整理までの流れにそって解説しています。イラストで場面ごとの会話を例に、面接、相談のスキルを具体的に解説しています。良いところや悪いところなどやポイントも入れ、一人でも学べるように工夫をしています。(Amazonより)

著者:高橋明美(人間学部准教授)・篠原純史(人間学部准教授) / ナツメ社(2024年1月) / 2,420円(税込)

BUNKYO GAKUIN 100TH ANNIVERSARY TOPICS SINCE 1924



学校法人文京学院創立100周年 特設サイトがリニューアルオープン



2024年4月1日より、学校法人文京学院創立100周年特設サイトが開設されました。本学院のこれまでの歩みをまとめたオリジナルムービーをはじめ、100周年を記念したイベントや寄付金募集、卒業生・関係者からのメッセージ動画などを公開しています。記念イベントなどの情報は随時更新していきますので、ぜひご覧ください。

「学校法人文京学院創立100周年特設サイト」はこちらから →



お詫びと訂正

2月29日発行の第794号4面「学校法人文京学院創立100周年記念事業募金のご案内」記事におきまして、お申込みサイトQRコードに読み取りエラーが発生しました。この度あらためて、100周年特設サイトのQRコードを掲載いたします。訂正してお詫び申し上げます。